

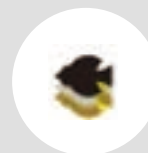
すみだ 五彩の芸術祭

街の彩り、
立ち上がる

ーすみだ五彩の芸術祭とはー

墨田区の「まち・ひと・歴史」を表現した4か月
にわたる地域密着型の大規模なアートフェスティ
バル。区内各所で5人のディレクターを中心に
様々な作家などが140以上の展示や公演、イベ
ントを展開しています。12月20日(日)まで開催。

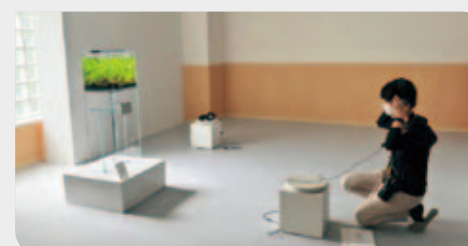
すみだ五彩の芸術祭
の象徴となる「都鳥」の
ロゴマークは、平安時代、
現在の墨田区業平の地
で在原業平が詠んだ歌
にちなんでいます。



鹿沼市と東京都墨田区は、友好都市提携を
しています。お互いの広報紙で市と区を紹介
する紙面交換企画も今年で9回目です。

区主催としては東京23区内初の総合的芸
術祭である「すみだ五彩の芸術祭」を、本市広
報広聴係の職員が取材しました。

秘書課広報広聴係 ☎ (63)2128



▲プログラムを体験する職員

すみだ五彩の芸術祭について、
企画をまとめているエグゼクティ
ブディレクターの神野真吾さん
に、話を聞きました。

芸術祭について

自分の「価値観」を揺さぶられる

芸術というと、特定の人々が美術館
などの完成されたアートを集めた
一つの場所に足を運び、展示を見て

5人のディレクター

歴史に少しの変化を加えて
新しいものに

ディレクターについて、自分の他に
はずっと墨田区で仕事をしている
4人をお願いしました。
芸術祭を始めるにあたり、最初に
決めたのは「上書き」しないとい
うこと。地域に関わりがない人が開催

東京藝術大学大学院美術研
究科修了(現代芸術論)。山梨
県立美術学芸員を経て千葉大
学教育学部にて2006年より助
教授、2026年3月より教授、4
月より同大学大学院教育学研
究院教授。アートの社会的価値
についての理論的および実践
的研究に取り組む。千葉市文
化芸術振興会議委員長、千葉
アートネットワーク・プロジェクト
(WICAN) 代表。



エグゼクティブディレクター
神野 真吾さん

楽しむポイント

歩きながらまちの空気を感じて
芸術祭の面白さは、展示会場間を
移動するときなんです。
効率重視の現代社会では移動は
短縮されがちですが、車で二瞬で通り
過ぎては、まちの空気を感じること
はできません。



▲5人のディレクター

しても、その地域になじまないもの
になってしまう。しかし、地域の人た
ちや身内だけでも同じことの繰り返し
になってしまつたら、多少変化を加
えるために僕みたいな外野の人間も
必要なのかなと思います。
墨田区の土着性や歴史を踏まえて
新しいことをする構造として、外か
ら来た僕と、ずっと墨田区で活動し
ている4人のディレクターがいるこ
とはすごく重要だと思っています。

なぜ墨田区なのか

まちがあつて
歴史があつての芸術祭

墨田区には、ものづくりの歴史や
関東大震災からの復興経験などさ
まざまなことがあり、その土地に愛
着がある人が多いまちです。だか
ら、何かをするときは人がたくさん
集まります。山本亨墨田区長もよく
「墨田区は人によって成り立ってい
る」と言っているけれど、本当にそう
思う。

芸術祭の企画中には、たくさんの
意見が活発に出てきたのが他の地
域に比べても突出した個性ですね。
大きなポテンシャルを秘めた、動き
始めると大きな熱量が動くまちです。
また、多様なルーツの人が暮らす街
でもあるので、それぞれのアートが
色々な人に影響すると思います。

まちがあつて、歴史があつて、その
上に展開される芸術祭だと感じら
れるのがすみだ五彩の芸術祭です。

墨田区は色々なものが東京大空襲
で焼けてしまつてまちなみが新しく
なっているけど、歩いてまちを回ると
個人の飲食店やねじの工場、革製品
の加工場、アーティストがおしゃれな
カフェに変えた町家など、さまざま
エリアがあり、色々な人がいること
がわかる。そんなことを味わいなが
ら展示会場間を移動して欲しいです。
そして、その土地の歴史などを知つ
て「この場所ってこんなことが」と思
いながらあらためて作品を見ると、
全然違うものに見えるんです。

今回の展示会場に

は「企画について」「作
品の説明」「作家のプ
ロフィール」の3つの
パネルをほぼすべて
の企画に展示してい
ます。他の芸術祭に
はない、こだわった点
です。



▲3つのパネル

鹿沼市のみなさんへ

この芸術祭を通して墨田区には
たくさん魅力があふれていること
を知ってほしいです。「また墨田に
来たいな」となってくれたら嬉しい
です。

両国・錦糸町駅周辺

ラジオを聴きながら

ミュージックチャンネル
ホンジョ 7 FUSHIGI

—岡田裕子



かつて「本所区」と呼ばれていた両国～錦糸町地域にまつわる怪異。スマホで得られるラジオ風音源を手がかりに、7カ所のポイントを巡っていきます。まちの風景が違って見えること間違いなし。ゴール地点には感動のフィナーレも…。

アーティスト 岡田裕子さんに聞いてみました

●この作品を創るにあたり意識したことは？

その地にまつわる伝承や、葛飾北斎の娘・応為（おうい）などについて、「想像を膨らませる」だけでなく、「目の前に在るかのように出現させる」ことを意識しました。

●参加者にメッセージをお願いします

怪異で人の気を引く“妖怪”と、作品や表現でインパクトを与える“アーティスト”は似ています。作中の妖怪バンドでも「私たちが怖がらないで愛してほしい」と唄っています。ぜひ移動しながら聴いていただき、自分とは違うものの存在に耳を傾けてみてください。



▲カッパ像と作家の岡田さん

一日は、朝陽と共に始まり、夕陽と共に終わる

—福田恵

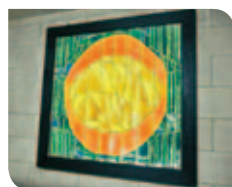
旧安田庭園で展開する作品。太陽光発電で動く電化製品や電灯。東日本大震災であらわになったエネルギー問題が、改めて問われます。運が良ければ動くマシンやテレビが見られるかも？



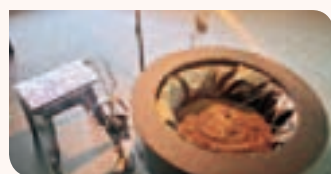
ブリッジ!-アートと社会福祉のあわいのなかで
-【両国会場】

—川田知志

関東大震災で甚大な被害を受けた墨田区。復興までの歴史を記念館の展示や資料とともに見つめながら、震災をきっかけに広まった近代建築の構造や意匠にインスパイアされた作品をご覧ください。



水中の小さな泡の音・ミミズの動く音、聞いたことありますか？微生物が電気を作ったり、生物がそこにいた痕跡を視覚化したり。普段は感じ取れない感覚を、研ぎ澄まされる空間です。



食いつぶれない明日

パブル シンフォニー

●Bubble Symphony

エネルギー サイクル

●Energeia Cycle

—xlab(東京大学 寛康明研究室)

サーマル バイオシグニチャーズ

分解と循環のエネルギー/Thermal Biosignatures

つめたく、あたたかいものたちのしるし

—滝戸ドリタ

鹿沼市民
10名
限定

芸術祭に行ったら

オリジナル手ぬぐいをもらおう

応募方法:11月25日(水)までに二次元コードから。抽選結果は当選者の方にのみ12月1日(火)にメールで返信します。受取は鹿沼市役所です。

受取方法や日時は抽選結果と合わせてご案内します。



すみだのうわさプロジェクト

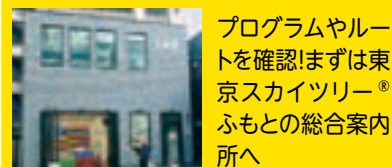
墨田区にまつわる噂が街中のいたるところに出現!



みんなの健康

鹿沼市から墨田区内のアクセス

総合案内所
ことまちラボ



プログラムやルートを確認!まずは東京スカイツリー®ふもとの総合案内所へ

新鹿沼駅



東武線

南部ルート

おしあげ
押上駅

とうきょうスカイツリー駅

北東部ルート



エリア間の移動には
墨田区内循環バスがおすすめ
1日乗り放題の乗車券も。詳細はこちら▶

緑と花の学習園・
香取神社入口

すみだ五彩の芸術祭、
140以上のプログラム
があるらしいよ

すみだ五彩の芸術祭
公式ホームページ
はこちら



プログラムが集中しているエリアや、移動しながら楽しめるプログラムを紹介します。

千葉大学墨田サテライトキャンパス周辺

社会×アート

みんなが社会のアーティスト

すみだテレビ
—開発好明

墨田区の中学生在がテレビ局を制作!芸術祭のアーティストへの取材や番組・ニュースの報道、テレビ局ブースの制作など、おのおのが自ら考え、形にしたテレビ局がキャンパス内に完成しました。



地域×アート

色をまとい、夢を縫う

—小泉賀貴

「トモ・コイズミ」として世界で活躍するファッションデザイナーが、自身のルーツと墨田の歴史ある繊維産業を結び、目を奪われる色鮮やかな作品で、空間を美しく彩りました。参加者と共に作り上げた作品も展示。



墨田の記号

—高須賀昌志

隅田川、スカイツリー、相撲、土偶まで!現在の墨田区を構成するアイテムを、壁面に集結させた圧巻の作品。作品は地元企業の協力の下、家の断熱材などに使われる素材をくりぬき、凹凸だけで表現しています。



なんでそんなんエキスポ

芸術的な脱ぎ方の衣服、自転車のカゴにかじったパン...「なんでそうなった?(笑)」と突っ込みずにはいられない、日常のワンシーンが集まっています。



福祉×アート

ひきふね
曳舟駅周辺

わたしたちがつくるのは、
—アートに取り組む障害のある方々

区は第5次地域福祉計画を、福祉とアートの融合をうたって刷新予定です。芸術祭でも、地域福祉に関するプログラムが多数展開されています。障がいのある人の自由な創作の場、墨田区。街の至る所で彼らの作品が出展します。

